

OBER

オーベルグランディオ  
ハートアイランド

発行日 2010年11月1日

発行 OGHクラブ準備事務局 企画・編集 暮らしの情報センター／セルフフィッシュネス

## オーベルグランディオハートアイランド建設現場から

皆様が心待ちにしている来春のご入居まで、あと半年を切りました。工事の気になる進捗状況等について、建設工事のトータル管理を行う長谷工コーポレーションの大淵総合所長にお話を伺いました。



D・C棟の足場が外れ、外観が見られるように。(9月中旬撮影)

### マンションの躯体が完成、仕上げ工事に入りました

4つの棟から成るオーベルグランディオハートアイランドは、9月中旬現在、高層のB棟を残し躯体工事は終了。B棟も11月中旬には足場が取れ、マンションの外装工事は終了します。すでに躯体工事が終了した階から仕上げ工事に入っています。

マンション工事は、最初にコンクリートを打ち建物の形を作る躯体工事、次に居住空間の内装を行う仕上げ工事、足場をすべて外した後に建物周辺の舗装や排水、植栽等を行う外構工事を行います。

工事は昨年7月から始まり、1年3ヶ月で上棟を迎えます。現場所長の仕事は、工事の各部分の作業を行う職方(しょくかた)さんがスムーズに仕事ができるよう段取りを組むことです。現在、躯体工事に30人、仕上げ工事では120～130人の職方さんが働いています。最盛期は200人が働いていました。職長さんだけでも何十人といるので、職長会を通じて現場からの要望を集めて会社にあげ、解決していくことも大切です。



B棟の躯体工事はあと少しです。(9月中旬撮影)

来年はこの堤防から花火大会が楽しめます。(9月中旬撮影)



株式会社長谷工コーポレーション  
オーベルグランディオハートアイランド新築工事  
総合所長 大淵秀樹さん



### 働きやすい職場づくりが 工事の質につながります

この夏は異常気象で、本当に暑かった。熱中症にならないよう、職方さん達にはとにかく水を飲むようお願いしました。また、日陰をたくさん作ったり、製氷機を5台用意したり、トイレにクーラーも入れてみました。内装工事は部屋の中で一人で行うことが多く、具合が悪くなくても気付かないことがあります。1日の作業が終了する時には、一人も欠けることのないよう見回りを徹底しました。おかげで無事に夏を乗り越えることができました。現場には年配の方もいます。きめ細かな技術や知識は経験を積んだ年配者だからこそそのものです。彼らにも安全に作業をしてもらうために、段差をなくしたり、明るさを確保したりしています。職長さん・職方さん達に、朝礼で「おはようございます」、帰りに「お疲れさまでした」と一人一人に言うことが、私の仕事だと思っています。

### マンション専門の長谷工だからこそ

長谷工コーポレーションはマンション工事を専門に行う建設会社です。首都圏・近畿圏にある現場では、仕事の流れは一緒に進んでいます。どこかの現場で不具合があれば、直ちに情報が稼働中の現場に伝えられ、原因を取り除くことで、再び同じ不具合が起きないように迅速に対処できます。また、私がこれまで手掛けたマンションでいただいたクレームは、次の現場に活かしています。これもマンション専門だからこそ、可能なことだと思います。

オーベルグランディオハートアイランドは、URが整備したハートアイランド地区にあって、地区の入口、上から見ると船の舳先にあたる象徴的なポジションです。ここは環境がいいですね。荒川の堤防が広がり、新田学園にも近い。荒川の花火大会も見事でした。来年は皆様が大いに楽しめることでしょう。いよいよ工事も仕上げの段階です。住んだ時に喜んでいただけること、これを一番に、日々務めて参ります。